

2019年度

0 世界史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は8ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I . 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

今日、国際間の交流はかつてない規模でおこなわれている。しかし、離れた国や地域間におけるヒト・モノ・情報の移動が、人類史の古い段階からすでに行われていたことはあまり知られていない。

人類が定住生活を定着させた新石器時代になると、農耕・牧畜の発達とのかかわりで長距離交易が活発になった。これらの活動に欠かせない利器をつくる材料は偏在する。そのため、こうした材料は地域文化圏を超えて獲得されねばならなかった。

紀元前1千年紀になると、東地中海沿岸のシドンやティルスなどの港市を拠点としたセム語系の（イ）人が、地中海全域をまたにかけ、活発な交易活動を展開した。また、この時代の西アジアと北アフリカでは、さまざまな民族を支配する広大な帝国が誕生し、交易活動を保護した。アッシリア帝国の王たちが宮殿にのこした浮彫には、ゾウやサル、フタコブラクダなど、アフリカや中央アジアに起源をもつ、同地では珍しい動物が描かれており、当時の人々の交流の範囲の広さを物語っている。

アレクサンドロス大王の東征に端を発するヘレニズム時代には、交流の範囲はさらに広がった。1世紀から3世紀にかけて西北インドで栄えた（ロ）朝は、中央アジアからくあ川中流域にいたる広大な領域を支配した。この王朝は、西のくいと東の後漢を結ぶ東西交易路の要地にあり、インド洋では、商人たちが季節風を利用して海上交易をおこなった。この季節風は、これを発見したと言われるギリシア人の名を取り、『エリュトラー海案内記』や『博物誌』では「ヒッパロスの風」と呼ばれる。この頃、文化面では、ヘレニズム美術の特徴を持つ彫刻がギリシア系の人々を通じて西北インドにもたらされ、仏教と結びついて（ハ）美術として開花した。

一方、陸路においても古くから東西交易はおこなわれていた。古い時代において、これら交流の主角を担っていたのは機動性にすぐれた遊牧民たちで、彼らは内陸アジアを横断する「草原の道」とよばれる交易ルートを支配し、ユーラシアの東西を結ぶ交流に寄与した。

唐代の中国には、こうした陸路や海路を通して様々な宗教も伝えられた。その中には、ササン朝ペルシア時代に生まれた宗教で、キリスト教、ゾロアスター教、仏教を融合させた二元論的な（ニ）教も含まれる。唐の都（ホ）には、イラン系の人々も多く住み、その風俗の流行は当時の文物に反映されている。

自己の属する集団を超えた交流を通して人類は技術を発展させ、同時に世界の隅々まで人口を増やしてきた。しかし、そのことはやがて地球環境を脅かすようになる。今や酸性

雨や地球温暖化といった地球規模の環境問題に対処することが、全世界的な課題となっている。2015年の（へ）協定には196の国と地域が合意し、温室効果ガス排出の削減が模索されるなど、今後こうした動きは活発となることが予想されている。

A. 文中の空所(イ)～(へ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所〈あ〉・〈い〉にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- 〈あ〉 a. エーヤワディー（イラワディ） b. ガンジス
c. ナイル d. ユーフラテス
- 〈い〉 a. アケメネス朝ペルシア b. 新バビロニア
c. ビザンツ帝国 d. ローマ帝国

C. 文中の下線部1)～10)にそれぞれ対応する次の問1～10に答えよ。

1. この時代に用いられるようになった、赤、白、黒、茶などの顔料で動物や幾何学文様を描いた土器を何と呼ぶか。その名をしるせ。
2. この種の都市の1つで、13世紀ごろから18世紀ごろまで東地中海の交易で名を馳せ、「アドリア海の女王」と呼ばれた都市はどこか。その名をしるせ。
3. この動物をひきいてアルプスを越え、イタリアに侵入してカンナエでローマ軍を大敗させたカルタゴの将軍は誰か。その名をしるせ。
4. この王の武将で、東征の帰路、インドから海路でメソポタミアまで航行した人物は誰か。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
a. アンティゴノス b. セレウコス
c. ネアルコス d. プトレマイオス
5. この言葉は、アレクサンドロス大王の東征以後、オリエントの文化がギリシアの文化に影響を与えたことに注目した19世紀ドイツの歴史家の提唱した歴史概念にしたがって用いられている。この歴史家は誰か。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
a. ドロイゼン b. ヘーゲル c. マルクス d. ミシュレ
6. この海上交易で取引された物品でアラビア半島の特産物は何か。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
a. 生糸 b. 毛皮
c. 丁字（クローブ） d. 乳香

7. この作品を1世紀に著したローマの博物学者は誰か。その名をしるせ。
8. この宗教のインド最古の壁画が多く描かれるアジャンター石窟群の南に位置し、ヒンドゥー教やジャイナ教の寺院も含む、断崖に掘られた石窟群はどこにあるか。その地の名をしるせ。
9. これらの人々のうち、8世紀中ごろに突厥に替わってモンゴル高原を支配するようになり、唐に援軍を送って反乱の鎮圧に協力したトルコ系民族は何か。その名をしるせ。
10. この王朝はローマ帝国と3世紀に争った。その中でこの王朝の捕虜となったローマの軍人皇帝は誰か。その名をしるせ。

Ⅱ. 次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしろ。

「エジプトはナイルのたまもの」と書き記した (イ) とならび、歴史記述の祖とも称されるトゥキディデスは、ペロポネソス戦争史について叙述し、長年平和的に共存してきたスパルタとアテネが停戦を破った根本的な原因について、「アテネの台頭と、それに対して¹⁾スパルタが²⁾抱いた不安が、戦争を不可避にした」と論じた。

著名な国際政治学者であるグレーム＝アリソンは、近著でこの現象を「トゥキディデスの罠」と名付けた。新興国が覇権国に取って代わろうとするときには両国間の緊張が高まり、小さなきっかけから大戦争が発生しやすいという意味である。

アリソンがそうした事例の1つとして挙げるのが、19世紀後半の、覇権国フランスと新興国ドイツの競争である。15～16世紀以来農民支配を強化した、(ロ) と呼ばれる保守的な領主層がプロイセンの政府・軍部を支配するようになり、(ロ) 出身であるビスマルクによる、ドイツ統一を目指す動きが進展した。プロイセンが急速に台頭し、³⁾フランスは不安を募らせた。挑発に乗ってフランスはプロイセンに宣戦布告したが、プロイセンに圧倒された。

17世紀のイギリスとオランダは、海洋国家同士で激しく競争し、最終的には戦争に到った。⁴⁾1623年にモロッカ諸島において発生した商館員虐殺事件である (ハ) 事件を機に、インドネシアからの撤退を余儀なくされたイギリスは、オランダへの反感を募らせた。イギリスは、急速な軍備の整備によりオランダに肩を並べた。両国は1652年からのおよそ四半世紀の間に、3つの戦争を戦った。

覇権国アメリカに対する新興国日本の挑戦も戦争を引き起こした。19世紀から20世紀のアジアには、欧米列強が次々と進出していた。日本も植民地獲得競争に加わり、清朝との戦争に⁵⁾勝利して、遼東半島、台湾と、台湾海峡の (ニ) 諸島の割譲を受けた。⁶⁾19世紀末、アメリカは中国における商業活動の自由を確保するため、門戸開放・機会均等・領土保全を提唱したが、日本はさらに⁷⁾朝鮮半島に続いて、中国の多くの部分を支配下に置いた。⁸⁾アメリカは、日本に経済制裁を科し、特に1941年8月の対日石油供給停止によって緊張が高まり、同年の日本による真珠湾攻撃に到った。

こうなると、アメリカが主導する秩序に、中華人民共和国が台頭し、挑戦しているように見える21世紀の現代世界の行く末に、不安を感じる者もいるだろう。20世紀初頭、当時は新興国であったアメリカは、キューバの独立運動に乗じたアメリカは (ホ) 戦争、パナマ運河の建設などで、西半球近隣地域に覇権を確立した。一方、現在の中国は、東シ⁹⁾ナ海や南シナ海で領有権に関する主張を行っている。¹⁰⁾

しかし、こうした新興国と覇権国の競争が、必ず戦争に到るわけではない。アリソンによれば、過去500年間において、これらのような、新興国が覇権国を脅かした事例は16件あり、最終的に戦争が起きたのはそのうち12件であった。アリソンはキューバ危機¹¹⁾に関する研究で知られるが、このキューバ危機も、まさに戦争が回避された実例である。我々は歴史の中から「トゥキディデスの罠」に陥らないための教訓を学ばねばならない。

A. 文中の空所(イ)～(ホ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部 1)～11)にそれぞれ対応する次の問 1～11に答えよ。

1. このポリスをレウクトラの戦いで破り、紀元前4世紀半ばに一時ギリシアの主導権を握ったギリシア中部のポリスの名をしるせ。
2. このポリスでペリクレスが前429年に病没した後、政治は混乱に陥った。そうした混乱の原因とされた扇動政治家のことを何と呼ぶか。その名をしるせ。
3. この人物が採用した軍備拡張政策を、1862年の議会におけるこの人物による演説にちなみ何と呼ぶか。その名をしるせ。
4. この時期のイギリスの出来事 a～dのうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
 - a. クロムウェルが護国卿に就任した
 - b. 審査法が制定された
 - c. チャールズ1世が処刑された
 - d. ニューモデル軍が編制された
5. これに関連する次の出来事 a～dのうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
 - a. 海峡植民地の成立
 - b. 九竜半島南部の割譲
 - c. 黄浦条約の締結
 - d. ムガル帝国の滅亡
6. この王朝は藩部を設け、周辺地域を間接統治した。理藩院が統轄した藩部に含まれないものはどれか、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 雲南
 - b. 新疆
 - c. 青海
 - d. モンゴル
7. 1899年にこの政策を提唱したアメリカの国務長官の名をしるせ。
8. この地に関する次の問 i・ii に答えよ。
 - i. 1811～12年にこの地の西北部で起きた、没落した両班による大規模な反乱の名をしるせ。

【以下余白】